

生理活性や機能性を有する物質の合成とその活用



製薬化学工学講座
教授 中島 範行

研究分野

有機化学、有機合成化学、プロセス化学

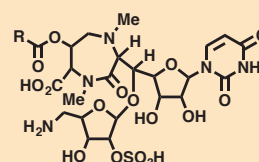
研究内容

- プロシアニジンオリゴマーの合成と活性の評価:
より高度で複雑な構造を有するプロシアニジン類(カテキンの重合体)の合成と活性評価を行い、高機能な物質の創製を行います。
- ペプチドグリカン生合成阻害剤の創製:
全合成に基づく化合物のデザインと官能基変換により、治療効果の高い薬剤の創成をめざします。

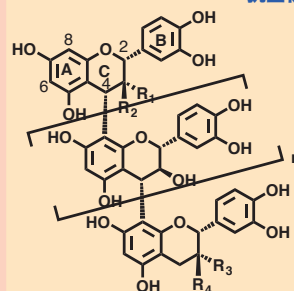
私の研究のポイント

医薬品のより良い工業的合成法を設定し、安全で操作が簡便な環境に配慮した方法を追求します。さらに、目的にあった化合物を任意にデザインし、自在に合成できる様、方法論や試薬を研究・開発します。高収率かつ高純度、高選択的な合成方法であることを目的に研究を行います。

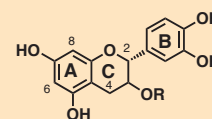
REPORT リポート



抗生物質：リボシドマイシン類



プロシアニジンオリゴマー類



カテキンやエピカテキン

機能性食品 (ポリフェノール)

